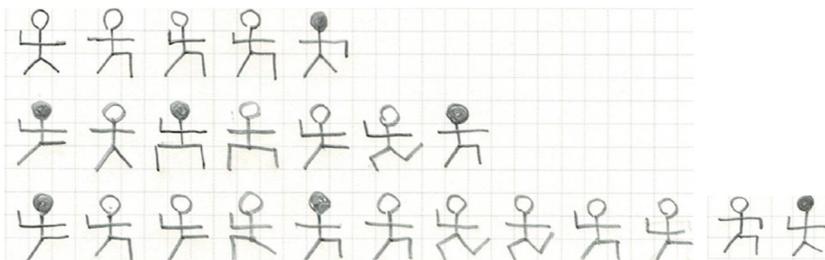


シャーロックホームズの「踊る人形」に出てくる暗号みたいに問題作ってみた

シャーロックホームズの短編推理小説に「踊る人形 (The Dancing Men)」というのがある (作: コナン・ドイル)。中学生のころに兄の影響で訳本を読んで以来「はまって」しまい、大人になって DVD を買い、英語の勉強にと英語録音された本を買った。最近 YouTube で Quiz Knock というグループが自作の踊る人形暗号を説くというクイズにチャレンジした動画を見て、この人たちの才能、まずは問題を自身で作成されたことが素晴らしいし、それに加えて順を追って論理的にかつ直観的に暗号を解く過程、そのための知識の多さはすごいと驚いた。いくつかのウェブサイトには暗号とアルファベットとの対応表が掲載されているが、まずは原著を読んで、物語の流れに即した暗号解読を満喫したあとに「答え」を見るのが絶対によい。

自分も何か問題を作ってみようと思って取り組んでみた。次の暗号はあるひとからの「簡単なあいさつ文」である。模様一文字がアルファベット一文字に対応している。ただし、原作のホームズの暗号にある人形文字とは異なる。繰り返すが、以下の「まねごと」を見る前にまずは原著を読むべきと思う。

問題: 「次の文は比較的簡単なあいさつ文である。何と書いてあるか」



(解説) 解読するとき、英語で多く用いられている文字は何か、(今回の問題の場合) 一文字だけで単語になるアルファベットは何か、そのあとに続く文字列は何か、あいさつ文であること、などがヒントとして考えられる。模様の羅列なので英単語にするには区切りが必要である。問題分を見ると頭が●のものが散らばっているので、これが単語の区切りではないかと考えられる。これで単語に分けることができた。そうすると、一文字で単語になっている箇所が二か所あるが、あいさつ文であることを考えると一人称主語の I と思われる。同じ模様を全部 I に置き換えてメモしておく。すると第二文で I のあとが 2 文字なので、I につづく動詞として AM と予想できる。わかった文字は模様の下にメモしておく。さらに続く単語は 4 文字で、ふたつめは I とわかっているので、「IAM ?I? ?」という文章になるが、あいさつ文なので FINE と予想できる。これで F、N、E がわかったので、他の文章を見直してメモを追加する。第一文は 5 文字から成る単語一つで「? E○○?」となっていて、○は同じ文字が続いている。直感で HELLO と気づきたい。これで H、L、O がわかった。残るは第三文で最初は I で次に 4 文字、7 文字の単語となっている。4 文字については「LI?E」までわかっているので 3 文字目は K (LIKE) であろう。7 文字とあわせると「I LIKE EN?LI?H」となり、最後の直感で ENGLISH として完成! 強引なところもあるが、こうやって筋道をたてて考える、筋道を立てて考えるための問題を作ってみると楽しかった。よい歳をした者が子供みたいなことに 3 時間ほど費やしてしまった・・・